

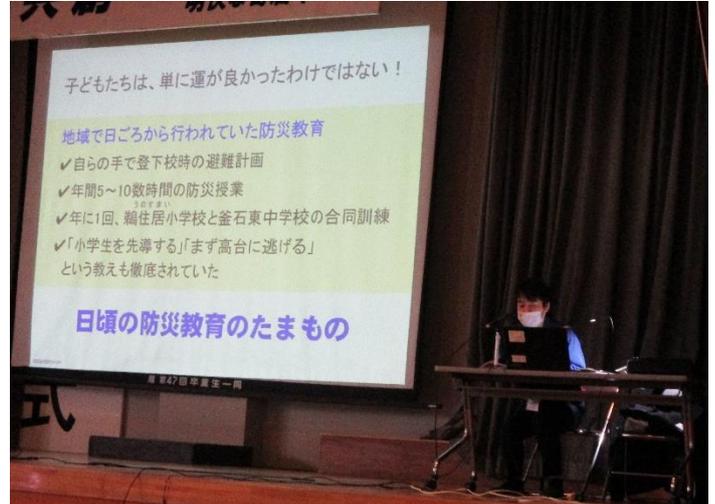
寄居中 コミュニティ通信

寄居中学校区にお住いの皆さん、寄居中学校保護者の皆さん、こんにちは。いつも寄居中学校の教育活動にご理解とご協力を頂きありがとうございます。2024年もどうぞよろしくお願いいたします。

防災力アップ講座を開催しました

11月19日に一学年生徒が信濃川下流河川事務所の職員の方より「信濃川での過去の水害」「頻発する最近の水害」「ハザードマップなどの情報の読み方」などを教えていただきました。

後半は、地域の方から入っていただき「想定された災害の状況になったら自分はどうするか？」についてグループで考えました。正解はありませんが、「平時から少しでも自分の身に引き寄せてイメージをしておくことが大切」と教わりました。



👉 どうしてそう考えたのか、みんなで共有しています



逃げる？逃げない？？自分の家がある場所は大丈夫？
想定された状況をイメージを膨らませて考えてみます。

想定(概要)：集中豪雨によりニュースでは「早めに非難するように」と流れています。家族は「避難しなくても大丈夫」と言っています。あなたは どうしますか？

【避難しない】

いつ川が氾濫するかわからないから
経験のある大人の言葉を信じる
マンションだから安全だと思う(高い・頑丈)
高台が近くにあるから急いで非難しないでいい。むやみに外に出ない方がいい

【避難する】

いつ川が氾濫するかわからないから
過去の災害からも人が亡くなる場合もあり危ないと思うから
「もしこうなったら」と考えておくことが大事だから。善は急げ

避難する・しないの判断理由に全く同じことが挙げられているのが興味深いですね。みなさんも水害や地震など家族と色々な想定を考えてお話ししてみたいか？

裏面にも写真があります📷



プライベートを確保する間仕切り作り

12月12日に新潟市中央区ハイパージュニアレスキュー講習会を受講しました。

- ・AEDの使い方について
- ・簡易トイレ
- ・避難所間仕切り
- ・発電機及び投光器
- ・簡易担架

について防災士の方に教えていただきました。



今年はAEDが初登場しました。
初めてふれる生徒も多く「災害以外の時でも役に立つ!」と大変好評でした。

受講した生徒の感想

- ・防災士の皆さんに分かりやすく教えていただき納得できた。
- ・家でも自主的に取り組んでやりたいと思った。
- ・話を聞くだけでなく、やってみることでより頭にはいりました。
- ・人命を救助するための行動を知ったのでいざとなった時はサポートできるようにしたいです。
- ・AEDは体験したことがなかったのでとてもいい経験になった。もっとやりたい。
- ・災害が起きても子どもができることは少ないと思うが、やり方を知っていれば他の人に伝えることができるから知れてよかった。



発電機が無事つけられるか…ちょっとドキドキします

前向きな感想がたくさん出て、有意義な学びの時間になりました



『地域教育コーディネーターよりひとこと』

災害はいつ起こるか分からない、とは思っていましたがまさかの一月一日でしたね。私は時々「今、地震が起きたらどうする?」「津波が起きたらどこへ逃げる?」とシミュレーションするようにしています。(田村)

ペットボトルの水やアルファ化米などを家の中に備蓄しているのですが、非常持ち出し袋を用意していない事に気づきました。準備してみようと思います。(高橋)